



# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第42号

発行:2009年10月15日  
発行責任者:  
特定医療法人社団 鵬友会  
事務局長 池島 守

～ 薬剤師としての幅広い業務展開を目指して～

医療安全管理者の視点から転倒・転落を減らしたい!

新中川病院 薬局長 仁科 周興



急速に進む医療改革の中で薬剤師を取り巻く環境も大きく変わろうとしております。「国民の医療の質と安全性を確保する。」を第一に考え、病院薬剤師としての業務を行っていきたく思います。チーム医療の中で薬学的視点で医薬品適正使用、安全管理を担う専門分野として、より安全な薬物療法を提供することです。

業務は、調剤、注射薬の管理、服薬指導、医薬品情報の提供等多岐にわたっております。

調剤は、安全かつ確実に服用して頂き、患者様の医療に貢献できるように、的確な医師の診断に基づいて患者様の状態に合った最適の薬剤、剤形と適切な用法用量を決定し、調剤を行います。

注射薬の管理は、処方箋の内容について、投与量・経路・速度・期間・配合変化等のチェック、検査室と連携し、臨床検査値等医薬品の適正使用上必要な情報を収集し、最適な効果を得られるよう監査・調剤(メインとなる輸液の混注等)を行っています。

また服薬指導について当院は、慢性期対応の病院で入院・外来患者様とも高年齢の方が大半を占め、投薬された医薬品のコンプライアンス及び継続服用時の副作用早期発見が難しい状況にあります。今後特に力を入れていきたいのは、「服薬指導」と連続した「副作用防止」です。なぜなら、主な副作用は服用継続中に発生する確率が高く、注意深く経過を観察する事で副作用の予兆を発見し、チーム医療で情報を共有し、安全な医療の提供に少しでも貢献できるよう努力したいと思っております。

更に、医療安全管理者としても活動させて頂いておりますが、昨年度からのインシデント・アクシデント報告で「転倒・転落」は報告事例においても「与薬」や「チューブ管理」と並んで上位を占め、重大な医療事故に繋がる事も少なくありません。高齢化に伴い、65歳以上の約20%が転倒を経験しているとされ、その10%が何らかの骨折を、更にその約1%は大腿骨頸部骨折していると推定されます。このように転倒の重要性が強調されるのは、高齢者の転倒が骨折や寝たきり、要介護、そして死亡に至る重大かつ深刻な事態を招くからにはほかなりません。大腿骨頸部骨折は、脳卒中発作に次いで「寝たきり」の原因となっています。たとえ歩行が可能となっても、ADLが低下し、転倒恐怖によって家に閉じこもり、急速に廃用症候群をきたすこともあります。その際に医薬品を使用している事も多く、その関わりも指摘されています。薬剤による転倒を防ぐ為には、第一に薬剤以外の転倒リスク要因を正しく評価する転倒アセスメントが重要で、リスクの高い高齢者に対しては、リスクを増幅させる可能性の高い薬剤の適正使用を中心とした薬剤管理指導が必要でしょう。「転倒・転落」をゼロにすることは不可能でも、リスクを減らし、医師・看護師と連携を取り、薬剤師として高齢者の転倒事故を防ぐ力になればと考えております。

今後も、できる限り患者様の傍へ行き「顔の見える薬剤師」として認めて頂ける様に、新中川病院薬剤師全員で努力していきたく思っておりますので、よろしくご協力致します。

# 第11回 市民向け医療・福祉講座 開催のお知らせ

認知症をめぐって ~ 地域連携を中心に ~

## 【第1部】基調講演

テーマ：板橋区における認知症への取り組み

講師：弓倉医院 院長 弓倉 整

## 【第2部】シンポジウム

座長：横浜ほうゆう病院 院長 小阪 憲司

### ◆シンポジスト◆

横浜市瀬谷区医師会 会長	田村 聡
横浜市瀬谷区福祉保健センター	松浦 拓郎
横浜市上飯田地域ケアプラザ	山中 信正
あさがお協力隊	中川 泰雄
横浜ほうゆう病院	遠藤 美和子



日時 平成21年11月13日(金) 18:10開場 ~ 21:00

会場 横浜市旭区民文化センター サンハート

定員 300名 申込み先着順 **参加費無料**

お申込み・お問い合わせ先

法人本部 担当:福島 TEL:045-360-0331 横浜ほうゆう病院 担当:前沢 TEL:045-360-8787  
湘南泉病院 担当:相澤 TEL:045-812-2288 新中川病院 担当:相原 TEL:045-812-6161

## 阿久和鳳荘 “敬老会”

平成21年9月19日(土)13:30から、阿久和鳳荘5階にて敬老会を開催しました。当日は、利用者さんと合唱した後、職員が鳳荘名物の『ソーラン節』を披露。このソーラン節はアップテンポなものになっており、この日にあわせて職員一同猛特訓しました。その甲斐あってか、利用者さんにはとても喜んで頂けました。最後におはぎを召し上がり、秋の風情を満喫しました。

